

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 23-012)

1 台湾の中華経済研究院 (CIER) (※台湾内外の経済情勢を研究し、政策提言を行うシンクタンク) の慈 (Hsu) 院長は、「2023 Pacific Research Conference and Leaders' Forum」において、「COVID-19 パンデミック後のレジリエントで包摂的な経済復興へ向けて」とのテーマで、パラオの観光産業について CIER が行った調査の予備的結果を報告した。正式な調査結果は未公表だが、日本、中国、韓国、台湾その他のアジア諸国の政策変更などによる様々な要因により、アジアの観光市場は競争が非常に激しくなっており、パラオは外国人観光客の誘致がより困難な状況に直面しているという。例えば、ASEAN の持続可能な観光開発フレームワークは、アジア地域を質の高い観光地にすることを目指しており、日本はインバウンド観光の包括的な回復を促進する政策を開始している。またタイは、自国を世界の主要観光地とするための国家観光開発計画を承認し、台湾は観光客誘致のため 1 億 7500 万ドルの予算を計上した。パラオのウドゥイ財務大臣はこの報告について、パラオがフィンテック産業に向かっていく大義名分になると述べた。太平洋島嶼国の中で、パラオとクック諸島は COVID-19 による経済的影響が最も大きく、クック諸島は 29.1%、パラオは 17.1% のマイナス成長を記録している。パンデミック後、クック諸島の経済は回復し、10.5% のプラス成長を記録したが、パラオの回復は乏しく、1% のマイナス成長となっている。報告によると、これは経済成長を単一の収入源 (※観光資源) に依存しすぎた結果であるとされている。今後最終評価を経てパラオへの一連の提案が報告書に盛り込まれる。その提案の一つは、「持続可能で、環境に優しく、包括的で、レジリエントな観光バリューチェーンを構築するための中長期的な国家戦略及びロードマップの策定」となる予定である。

[原文](#)

(30th June 2023, Island Times)

2 在ミクロネシア連邦中国大使館が火曜日 (6 月 27 日) に発表した声明によると、月曜日 (6 月 26 日) に新駐ミクロネシア連邦大使に就任した呉 (Wu) 氏がミクロネシア連邦 (FSM) のシミナ大統領に信任状を捧呈した際、同大統領は、FSM は中国との友好関係の発展を非常に重視しており、両国間のより深い関係をさらに推進していくと述べ、FSM への中国の貢献に謝意を表明するとともに、「一つの中国」政策への支持を堅持すると述べたという。

[原文](#)

(30th June 2023, Island Times)

3 トンガ漁業省は、ババウ州に新たな船外機付ボートを正式寄贈した。政府によるババウの離島へのアウトリーチのプログラムや活動に役立てられる。

[原文](#)

(23rd June 2023, Ministry of Fisheries)

4 豪州外務貿易省 (DFAT) の高官であるマクドナルド氏は、太平洋地域担当特使に就任する。同氏はフィジー高等弁務官にも任命されており、過去 4 年間は太平洋事務所 (※太平洋地域との関与を深め、連携を強化するため、2019 年に DFAT に設置) のトップを務め、以前はニュージーランド高等弁務官として海外勤務していた。豪州の外務大臣及び国際開発大臣は、新たな特使の任務は、太平洋地域への連邦政府のコミットメントを反映したものであるとの共同声明を発出した。さらに同声明では、太平洋諸島フォーラム (PIF) のメンバーとして、豪州は集团的課題への対応能力を高め、地域組織との関与を強化するとされ、フィジー高等弁務官を退官するジョン・フィークス氏及び高等弁務官事務所スタッフの貢献と尽力に謝意が表された。

[原文](#)

(3rd July 2023, Islands Business)

5 宇宙ベースの無線データ及び解析で世界をリードする防衛技術企業である HawkEye 360 Inc. は、太平洋諸島フォーラム漁業機関 (FFA) による IUU 漁業探知・防止のための活動を支援するため、海洋状況把握を向上させる試験的プログラムを豪州外務貿易省 (DFAT) から受注したと発表した。2023 年まで同社の衛星無線による海洋解析及び訓練の提供がなされる。これは 2022 年にクアッド首脳らにより発表された「海洋状況把握のためのインド太平洋パートナーシップ (IPMDA)」の一環として、IUU 漁業撲滅に向けた豪州による継続的なコミットメントと地域的リーダーシップを反映するものである。HawkEye 360 Inc. は現在 21 基の衛星を運用しており、2025 年までに 60 基 (3 基を 1 単位とした 20 クラスタ) の衛星群への拡大を目指している。インド太平洋地域の需要の高まりに対応するため、2023 年には中緯度軌道の 2 クラスタの衛星を打ち上げる予定である。

[原文](#)

(6th July 2023, HawkEye 360)

6 パラオのペリリュー州知事は、インドのパラオ総領事にあてた書簡の中で、同州の海上輸送船を追加的に確保するための協力・支援を求めた。50 人が乗船でき、6 台から 11 台の普通自動車を搭載できる船が必要だという。同知事はさらに、州庁舎には貯水設備がなく、2023 年には干ばつも予想されていることから、少なくとも 2500 ガロンの容量がある水タンクを 12 個要請したいと述べた。

[原文](#)

(7th July 2023, Island Times)



PRESS RELEASE

HANDOVER OF FISHING BOAT FROM MINISTRY OF FISHERIES TO THE GOVERNOR OFFICE OF VAVAU

(NEIAFU, VAVAU, TONGA, JUNE 23rd, 2023)- Tonga Ministry of Fisheries officially donated a new boat with and outboard engine to the Governor of Vavaú, Lord Fakatulolo to support the government outreach programs and activities to the outer islands of Vavaú.

This official handover program was held at the Halaevalu Wharf in Vavaú and the boat was handed over to the Governor, Lord Fakatulolo by the CEO of Fisheries, Dr. Tuikolongahau Halafihi.



The official event was started with a prayer led by Rev. Manase Lomu of the Tonga Constitution Church and also attended by staff from the Governor's Office and some staff of the Ministry of Fisheries. In his speech, Lord Fakatulolo expressed a sincere gratitude and thanked the CEO and Ministry of Fisheries for this great donation, helping the development of Vavaú.

